

もしも キャンペーン

「いつか」ではなく、いま考える「もしも」の時のこと。
「もしも」の時もあんしん安心できる地域でありたい。



障がいのある方

「もしも」家族が倒れたら…
「もしも」の時はこうして欲しい

いつも利用している事業所

気がかりなご家族がいる
ご家族が頑張りすぎかも？
頼れるところはあるのかな？
「もしも」の時はなにができるかな？



みんなで話し合おう

担当者会議など、みんなが話せる機会に
「もしも」の時のことを話し合っ
て備えていきましょう。



～もしもキャンペーンとは～

和泉市障がい者地域自立支援協議会・地域生活支援拠点部会では、障がいのある方の「緊急時の支援体制」についての取り組みを行っており、短期入所を活用した支援体制を構築するなど、整備を進めています。
今後、さらなる充実に向けてどのような支援体制が必要か、個別に利用者の希望や状況をお聞きし、その方に合った支援体制の構築を進めるため、考えるきっかけ、話し合いを持つ機会としてキャンペーンを企画しました。

「もしも」のときを

考えよう



たとえば、日頃障がいのある方を介護されている方が急に不在となった場合、どのような支援が必要か、ご本人に合った支援体制について、ご家族、支援者と事前に話し合い「もしも」の事態に備えていきましょう。

障がいのある方・ご家族

今はまだ元気だけど…

もし家族が倒れたら

ご本人の介護についてどうすれば良いのか

サービス提供事業所

行き慣れた事業所でご本人のことをよく知っている

もし家族がみれなくなった時、
なにができるかな。



みんなで考えよう

「もしも」の時はどんな支援が必要か
担当者会議やモニタリング等の場面で
「もしも」の時について話し合い、備えましょう。



point

「もしも」の時はどんな時？

- ・ご家族など介護されている方が不在になるリスクは？（入院やその他の事情など）
- ・不在となった場合緊急的に支援が必要かどうか

「もしも」の時がきたら

- ・支援が必要な場合、誰がなにを担うか。
→親族などで支援してくれる人がいる
→支援者で介護等する必要がある

【具体的にどんな支援が必要か】

- 短期入所を利用したい
- 在宅で介護を受けたい
- その他

連絡や送迎などの役割分担も確認しておきましょう

「もしも」の時に備えて

- ・具体的にどのようなサービスがどれくらい必要か
- ・今の支援量を変更する必要があるか
- ・支援計画や支給量の見直しをしましょう